



結婚式から生まれる幸せの連鎖。

グッドラック・コーポレーションでは教育を受けられない多くの人々に対して“学ぶ”機会を提供したいと考え、「Room to Read」とパートナーとなり、2017年、図書館「GOOD LUCK LIBRARY」をカンボジアに創りました。そして2018年はアフリカ・タンザニアでの図書室創設に向け、活動して参りました。アールイズ・ウエディングで結婚式を挙げていただいたカップル、1組につき3ドルを寄付として資金に充当しています。結婚式を挙げる事が支援につながる、幸せの連鎖の仕組みです。

ルーム・トゥ・リードとは

ミッション

「世界中の子どもたちに教育を届けること」を目指し、ジョン・ウッド氏により2000年に創設された国際的なNGO団体。読み書きの能力の育成と教育における男女格差の是正に焦点をあて、開発途上国に住む何百万・何千万の子供たちの人生を可能性に満ちたものに変わっていきます。

チャレンジ

ユネスコの推計によれば、世界には読み書きできない人たちが7億81,000万人。そのうち、2/3は女性で、2億5,000万人が子ども。小学校に行くことができない子どもは6,100万人。日常生活に必要な文字の読み書きができないことで得られる情報も不足し、書面での意思表示ができずに社会的な地位も大幅に制約されてしまう。教育の欠如は、貧困の連鎖を生み出します。

これまでの成果

2020年までに1500万人の子供たちに教育を届けるという目標を掲げ、開発途上国へ教育という贈り物をおくるために教育プログラムを展開。支援国内における活動は年々広がりを見せています。2000年にネパールで地域コミュニティと共に、学校と図書館・図書室を設立したのが始まりです。その後、活動の範囲はベトナム（2001年）、カンボジア（2002年）、インド（2003年）へと急速に広がっていきました。その後アフリカ大陸へと活動の拠点を増やし、2006年に南アフリカ、2007年にザンビアでもプログラムを立ち上げました。2008年にはバングラデシュで、2012年にはタンザニアで活動を始めました。2015年までに1160万人の子供たちをサポートしている。

Room to Readプロジェクトにおける1年間の収支報告

●寄付金総額：¥2,851,920 ※11月25日時点

GOOD LUCK LIBRARY タンザニア



学校名：Jitihada Primary School
所在地：タンザニア ブワニ州 キバハ
生徒数：幼稚園生～7年生まで639名
（女子303名、男子336名）
教員数：17名（女性14名、男性3名）

キバハはタンザニアの東海岸地域に位置し、ブワニ州の9地区の一つ。都市部タルエスサラームからは約35km。車で1時間半程。タンザニアは所得格差が非常に大きい。【識字率】最上位層：男性95.2%/女性89.2%
最下位層：男性59.4%/女性43.1%
タンザニア人口の80%が農村部で生活をしている。貧困ラインが上がらない要因の一つである。



2018/11/6 in TANZANIA

日本から飛行機で22時間。アフリカ・タンザニアで
識字教育プログラムと女子教育プログラムの視察を行いました。



識字教育プログラム

- ・アールイズで結婚式を挙げていただいた1組あたり3ドルを寄付いただき、図書室の設置資金として積み立てております
- ・第1章 カンボジアに続き、今回の第2章はタンザニアに「GOOD LUCK LIBRARY」を創設しました

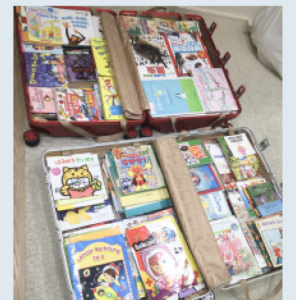
グッドラック・コーポレーションは子供たちに教育の機会を与える為、Room to Readとパートナーとなり「GOOD LUCK LIBRARY」を設立することで発展途上国の支援をしています。タンザニアでは、子供たちの人数に対して教室が不足していることが教育環境の課題となるため、このような取り組みが必要不可欠です。

皆様から寄付いただいた本を届けてきました

現地スタッフ、国内スタッフより
集まった本は266冊。
お客様より15冊。（昨年：60冊）

合計281冊の本をタンザニアの子供たちに
寄付させて頂きました！

ご協力ありがとうございました。



女子教育プログラム

教育を受けた女性是世界を変えることができる、という信念に基づいてこのプログラムは2000年にスタートしました。スタートからこれまで5万6000名の少女たちに支援を行いましたが、特に2017年ではその内、3万6000名もの少女たちが学校に通い、目標を達成することができ、今後につながる大きなきっかけとなりました。生きるために必要なライフスキル、正式な教育の提供をすることで、少女たちの大人になる準備をサポートしています。

< 実際にプログラムに参加した子供のインタビュー >

ルーム・トゥ・リードに出会えたことが
私にとっての奇跡だと思っています。
高校卒業後、私は大学へ行き、法律を学んで
有名な弁護士になりたいです！



デヴィーナちゃん
（バガモヨ地区）

タンザニアの90%が1日200円以下で生活をしており、貧困の連鎖は常に存在しています。経済的負担を軽減するために、若いうちから結婚のプレッシャーがありタンザニアの少女たちの65%が中等教育を中退する一番の理由が結婚です。ほかの少女たちと同じ様に、デヴィーナが学校に通い続けられる可能性はほとんどありませんでした。しかしルーム・トゥ・リードに出会い、物質的支援だけでなく、デヴィーナはソーシャルモビライザー*からメンタリングを受け、日々の困難をどのように乗り越えていくか導いてもらいました。最も大事な事は、ライフスキルを身につけたことです。ライフスキルの授業を通して、自分に自信を持ち、自分自身の身体や健康をさらに理解する事に繋がりました。

*ソーシャルモビライザー：生活改善普及スタッフ

